



大田 祐介
水曜会
(55分)

移植医療の推進は

問 臓器提供は命の贈り物であり、人生最後の善意の証しである。

答 ①市民病院における臓器提供の実績と取り組みは。
②市民の臓器提供の意思表示は。
③過去10年間で脳死後3件心臓が停止した死後1件である。

これまで、院内へのポスター掲示や窓口へのリーフレット設置などで周知を図るとともに、入院時の書類に臓器提供意思表示カードの有無を記入していただく取り組みも行っている。

②本市ではアンケート調査を実施していないが、日本臓器移植ネットワークの調査によれば、既に臓器提供の意思表示をしている人が14・3%、意思表示をしてみたい人が23・9%、意思表示をしたいとは思わない人が25・1%、分からない人が36・6%となっている。



榊原 則男
水曜会
(55分)

JR道上駅前の環境整備は

問 神辺町道上地域は、近年人口増により福塩線「道上駅」の利用者が急増しており、それに関連して周辺整備の遅れが目立つが、現状認識と改善策は。

答 近年は、福塩線各駅の中でも特に道上駅の利用者が増加傾向にある。



JR道上駅前

2013年には120台収容の駐輪場を約200台収容できるよう拡張整備し、混雑の解消を図ってきた。

引き続き、利用実態や駅周辺の状況を踏まえ、利用者への利便性向上に向けて可能な対応策について検討する。



喜田 紘平
水曜会
(55分)

LGBT(性的少数者)への現状は

問 LGBTの理解促進や支援、啓発は。

答 市職員への正しい理解促進に向け具体的事例に基づく研修も実施する。相談窓口は、安心して相談できる体制づくりに取り組む。当事者の皆さまから意見もいただく

きながらより効果的な啓発活動を行う。小中学校では、教職員や児童生徒が個性や多様性、違いを尊重し合う関係をつくり、悩み等を抱える児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、いじめや差別を許さない学校づくりに取り組む。

教員の働き方改革は

問 教員が児童生徒とより向き合えるための時間の確保策は。

答 部活動指導員の導入の検討や、ICT教育機器の整備を始めており、時間確保に努める。



宮地 徹三
公明党
(50分)

防災対策は

問 ①7月豪雨の課題検証は。
②浸水対策は。
③防災重点ため池の管理は。

答 ①防災対策検討会議での検証内容は、自主防災組織による避難場所の開錠や分かりやすい避難情報、災害対策本部と自主防災組織のホットライン構築などである。

②「二度と床上浸水被害は起こさない」との強い決意の下、福山市域における浸水対策協議会で発生要因などを検証。県管理河川は瀬戸川など20河川で河道しゅんせつを実施予定で、手城川流域は抜本的な内水排除対策を短期間で集中的に実施すべく検討を詰めている。
③新たな選定基準による候補箇所を市が県に報告し、県が選定する。県の浸水想定区域図を基に市がハザードマップを作成するほか、ため池管理者とも連携し、使用されていないため池の廃止など安全管理や必要な対策工事に取り組む。

※河道しゅんせつ：河川が流れやすくなるよう、川底にたまった土砂を取り除くこと。